

学校給食完全無償化に

ついに、今年度から小学校・中学校の給食が無償化となりました。これまで保護者の皆さんから、給食費が高く特に複数の児童生徒をかかえる子育て世帯の負担は大きいという声に応え、議会では数年前から取り上げてきた経過があります。

全国的に無償化の自治体が増える中で国は、4月から小学校のみ無償化とする方針を打ち出しました。それに加えて本市では、独自に中学校への無償化も同時に行い子育て支援の充実を図ることとしました。

無償化となった学校給食について保護者の声は「ありがたい」「家では作ることもない献立が嬉しい」「子どもからは、おいしいと聞いている」「無償化となつて質が落ちないか不安もある」などが聞かれました。食材の高騰に追い打ちを

かけるかのような中東情勢の不安の中で、給食センターの職員は、「これまで通り献立に工夫を凝らし、質や栄養バランスを維持し、充実させていく。今後は、さらにリクエスト給食を増やしたい」「試食会を増やし地域からも受け入れたい」等、学校給食は、おいしいということを皆さんに知っていただきたいと語っていました。

子どもたちの声は、「カレーがおいしい」「スープがおいしい」「イカの照り焼きが1番好き」等、誰もが「おいしい」との感想が聞かれました。

学校給食は、単なる「お昼ごはん」ではなく心身の健全な育成や食を学ぶための「大切な教育」であります。また、栄養バランスの取れた食事の提供と生涯にわたる健康的な食習慣を身

につけるための「食育」の推進を目的とする学校給食法に基づいています。

給食無償化は、教育政策であると同時に、子どもの貧困対策や少子化対策を含む福祉政策でもあります。子どもたちの教育と成長を支える環境は全国どこでも保障されるべきであり、中学校についても国による制度化が早急に求められています。

段階的な無償化への経過

令和4年	年間1億円必要、財政上困難と答弁（12月定例会）
令和5年	第3子以降無償化
令和7年	第2子以降無償化
令和8年	小中学生の完全無償化達成



給食の調理作業中

陳情

■ 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書

■ mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

報告

※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配付しました。

あじか

▼今回号から議会だよりをリニューアルしました。議会だより編集特別委員会では、より多くの市民の皆様の手にとっていただき、議会を身近に感じてもらえる紙面を目指して議論を重ねてきました。その結果、地域で活躍する団体の取組や、子育て世代の声を紹介する特集を新たに掲載しています。今後も市民参加の議会だよりを目指し、より親しまれる紙面づくりに努めてまいります。

（井筒 記）

委員長 佐々木 義昭	委員 佐藤 憲弘	井筒 健太郎	村田 信之	工藤 聡一郎	高橋 孝一	細田 孝子
副委員長 深澤 秋子	委員 佐藤 憲弘	井筒 健太郎	村田 信之	工藤 聡一郎	高橋 孝一	細田 孝子